

## 帰宅困難者等に対する船橋市の検討テーマについて

### 東日本大震災の帰宅困難者の状況

- ・ 交通機関の一斉停止によって帰宅が困難な状況が発生した。
- ・ ターミナル駅周辺を中心に帰宅困難者が多数滞留した。
- ・ 帰宅困難者は各駅係員に、周辺の避難所を案内された。
- ・ 帰宅困難者が学校、公共機関、民間施設等へ移動した。
- ・ 地域の避難者と帰宅困難者が同一避難所に集中し、スペース不足等による混乱が生じた。
- ・ 鉄道会社に問い合わせるが、今後の運行の見通しが分からなかった。

### 東日本大震災で見た課題

- ・ 公共交通機関を中心とする関係機関との連絡体制の確保、具体的な役割分担の明確化
- ・ 公共交通機関の運行状況の全体把握と、運行再開見込み情報の提供
- ・ 徒歩帰宅困難者を支援するための情報と物資の提供
- ・ 帰宅困難者等の一時的な滞在所の確保と運用体制の構築

### 船橋市が行う対策

- ① 公共交通機関との連絡体制の構築や具体的な役割分担の検討
  - ・ 主要駅と関係機関との連携関係の構築
- ② 帰宅困難者の発生抑制
  - ・ 事業所の従業員等が帰宅困難者とならないよう、企業等に、発災時、従業員を一時留め置きするよう基本原則の周知・徹底していく。
- ③ 帰宅困難者用一時滞在施設等の確保
  - ・ 民間施設等に、一時滞在施設としての協力を呼びかけていく。
- ④ 徒歩帰宅者への支援
  - ・ やむを得ず徒歩帰宅する方への水道水やトイレの提供など、帰宅支援に関する協力店舗（コンビニ等の帰宅支援ステーション）を拡充する。
  - ・ 駅周辺のコンビニ等の帰宅支援ステーション、協定による一時支援施設や主要な幹線道路までの経路を示す「帰宅支援マップ」を作成し、協力事業者へ配備する。
- ⑤ 計画的な訓練を実施する
  - ・ 協議会メンバーを中心とした関係機関や事業所と連携して、実践的な訓練を実施する。

＜参考＞ 各避難所の避難者受け入れ人数（単位：人）

船橋小学校	5	薬円台小学校	43	小室公民館	3
湊町小学校	150	薬円台南小学校	3	浜町公民館	150
南本町小学校	15	三山東小学校	2	塚田公民館	4
宮本小学校	63	高根台第三小学校	2	宮本公民館	5
若松小学校	250	大穴小学校	19	三咲公民館	3
海神小学校	2	特別支援学校高根台校舎	1	葛飾公民館	180
西海神小学校	160	船橋中学校	101	薬円台公民館	1
葛飾小学校	350	若松中学校	300	松が丘公民館	3
小栗原小学校	20	葛飾中学校	300	高根台公民館	2
三咲小学校	168	芝山中学校	24	海神公民館	10
法典小学校	2	古和釜中学校	1	青少年会館	43
法典東小学校	6	船橋アリーナ	3	武道センター	22
法典西小学校	4	中央公民館	1500	勤労市民センター	210
塚田小学校	1	東部公民館	70	船橋フェイス	120
行田東小学校	4	西部公民館	300	本庁	30
行田西小学校	300	夏見公民館	3	きらら	350
芝山東小学校	1	法典公民館	1	市民サポートセンター	90
芝山西小学校	4	二和公民館	1	船橋特別支援学校	1
七林小学校	5	三田公民館	4	市立船橋高校	65

※平成23年3月12日 午前2時35分集計人数 計 5,480 人